

いずもさき 議会だより



さかなまつり

第60号

2008

平成20年8月5日

発行/出雲崎町議会
責任者/議長 中川正弘
編集/議会報特別委員会

〒949-4392
新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地
TEL. 0258(78)3112 FAX. 0258(78)4483

6月定例会

もくじ

- ・ 定例会のあらまし 2～4
- ・ 4月臨時会のあらまし 5
- ・ おたずねします、お答えします 6～9
- ・ 町民の声「自然に親しむ、
私の里山ウォーキング」… 10

◆ 定例会のあらまし ◆

(会期 6月9日から 5日間
6月13日まで)

* 6月議会で決まった補正予算 *

会 計		補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第2号)		1億1,346万4千円	32億7,476万9千円
特 別 会 計	国民健康保険事業 (第1号)	178万5千円	5億6,948万5千円
	後期高齢者医療 (第1号)	37万1千円	7,237万1千円
	特定地域生活排水処理事業 (第1号)	600万円	2,600万円
	下 水 道 事 業 (第1号)	500万円	2億9,530万円
	老 人 保 健 (第1号)	1,000万円	8,630万円

一般会計補正予算 (第2号)

おもな歳出

- ・ 県営中山間地域総合整備事業換地業務委託料(六郎女地区)……………1,120万円
- ・ 県営中山間地域総合整備事業換地業務負担金(六郎女地区)……………1,495万円
- ・ 県単林道工事(柿木滝谷線、吉川滝谷線)……………1,000万円
- ・ 道路新設改良舗装工事追加……………2,805万円
- ・ 町営住宅建築工事追加……………1,950万円

特別会計補正予算

おもな歳出

国民健康保険事業 (第1号)

- ・ 国保税賦課業務電算委託料追加……………157万5千円

後期高齢者医療 (第1号)

- ・ 郵便料……………37万1千円

特定地域生活排水処理事業 (第1号)

- ・ 19年災浄化槽災害復旧工事……………600万円

下水道事業 (第1号)

- ・ 施設維持修繕工事追加……………500万円

老人保健 (第1号)

- ・ 医療給付費追加……………1,000万円

定例会は、報告1件、平成20年度一般会計・特別会計補正予算並びに条例制定・一部改正など議案14件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認・可決・同意しました。
尚、陳情2件を採択、発議では、意見書2件を可決しました。



提案説明

No.	事業名	主な事業細目
1	健やかで支えあう福祉のまちづくり	若い世代の子育て支援事業、少子化対策に関する事業、高齢者福祉支援事業など
2	美しく暮らしやすい快適なまちづくり	消防・防災体制の整備、雪対策事業など
3	活力あふれる産業のまちづくり	観光振興事業、地場産品の開発など
4	感性豊かな教育のまちづくり	青少年の健全育成に関する事業、奨学金制度の充実など
5	住民と一体となって進めるまちづくり	地域づくり活動の応援、広報・広聴活動の充実など
6	自然環境保全及び良寛を始めとする歴史資産保存に関する事業	自然環境保全に関する事業、歴史・文化財保存に関する事業など
7	町長が特に定める事業	災害からの復旧・復興に関する事業など



「ふるさと納税」
パンフレット

可決した条例制定など

- ◆ 出雲崎町職員の給与に関する条例の一部改正
 - ・ 職務に社会福祉士を加えたもの。
- ◆ 出雲崎町税条例の一部改正
 - ・ 「収益事業を行っている特定非営利活動法人」を加えたもの。
- ◆ ふるさと出雲応援寄附条例制定
 - ・ 出雲崎町の発展、自然環境と歴史的な資産継承を願う寄付者を募り当該寄付を財源として事業を行うもの。



刈羽村「ラピカ」

- ◆ 出雲崎町国民健康保険税条例の一部改正
 - ・ 課税の変更にもなるもの。
- ◆ 柏崎地域土地開発公社定款の一部改正
 - ・ 「郵便貯金」を削るもの。
- ◆ 柏崎市、高柳町、刈羽村、西山町及び出雲崎町の公の施設の相互利用に関する協定の一部を変更する協定の締結
 - ・ 柏崎市市民会館の廃止等によるものと、合併に伴う町名変更によるもの。

自治功労者表彰

このたび新潟県町村議会議長会長から、議会機能の高揚と町村自治の振興発展に尽力された功績が認められ、次の議員が表彰されました。

20年以上在職功労者

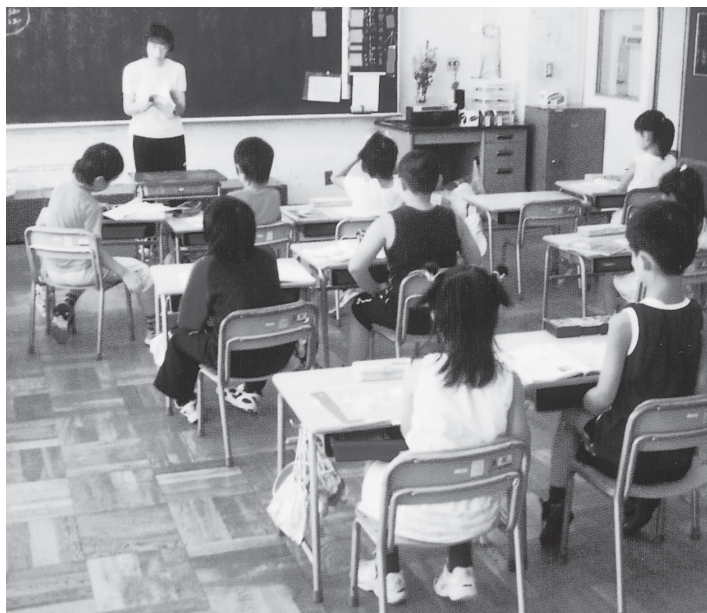
● 小林 泰三 議員

10年以上在職功労者

● 中川 正弘 議員
● 山崎 信義 議員

農業委員の議会推薦

小林 泰三 氏
(大字山谷)



現行の基準で32人学級



現行の基準で40人学級

※写真と意見書とは関係ありません

可決した意見書

◆ へき地級地見直しに関する意見書

・へき地級地見直しにあたっては、平地の実状を考慮し、へき地教育の振興と教育の機会均等を保障する見直しが行われることを要望するもの。

この意見書は、新潟県人事委員会・教育委員会に提出しました。

◆ 30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の国負担率2分の1復元をはじめとする教育予算の充実を求める意見書

- ・学級規模を30人以下に縮小し、きめ細やかな教育が可能な教員配置が必要であり、また国庫負担制度においては地方への多大な負担を課すことなく、義務教育基盤をつくるよう要望するもの。

この意見書は、内閣総理大臣はじめ関係機関に提出しました。

4・4	議会報特別委員会
14	議会報特別委員会
22	議会報特別委員会
25	議会運営委員会
	4月臨時会
	全員協議会
5・20・21	第33回町村議会議長・副議長研修会 (東京都)
27	全員協議会
28	第29回町村議会広報研修会 (新潟市)
6・3	議会運営委員会
9	議会運営委員会
	6月議会定例会招集日
10	社会産業常任委員会
	総務文教常任委員会
11	定例会2日目（一般質問）
	予算審査特別委員会
13	議会運営委員会
	定例会最終日
	全員協議会
	議会報特別委員会
30	議会報特別委員会

議会のうごき

(主なもの)

(平成20年4月～6月)

◆ 4月臨時会のあらまし ◆

(会期 4月26日 1日間)

* 臨時会で決まった補正予算 *

会 計	補正額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第1号)	830万5千円	31億6,130万5千円
特別会計 住宅用地造成事業 (第1号)	689万7千円	1,359万7千円

4月臨時会は、報告2件、議案5件が提出され慎重審議の結果、原案のとおり承認・可決しました。

一般会計補正予算

おもな歳出

- ・ マリンビューウエディング
プレゼント宅地購入費……………350万2千円
- ・ 道路新設改良測量設計
業務委託料追加 (宮ノ下線) ……195万円

一般会計補正予算 (第12号)

平成19年度地方交付税額等の決定に伴い平成19年度出雲崎町一般会計予算の補正の必要が生じたためのもの。

おもな歳出は、財政調整基金積立金追加 6,500万円
財政調整基金利子積立金追加 88万8千円

特別会計補正予算

おもな歳出

- ・ 用地買収費……………660万7千円

報告2件(専決処分)

- ①松本地区農業集落排水施設災害復旧工事に追加工事が発生したため。
- ②夕風の橋改修工事に追加工事が発生したため。

変更後契約金 54,231,450円
変更後契約金 106,819,650円



無償譲渡した土地

◆ 町有財産の無償譲渡
夕風の橋で5月24日にマリンビューウエディング結婚式を挙げるカップルが決定した事に伴い、てまり団地の1区画無償、譲渡に議会の議決が生じたもの。

◆ 出雲崎町手数料徴収条例の一部を改正する条例制定
平成19年に公布の法律が5月に施行されることに伴うもの。

可決した条例改正など

防災対策について

山崎 信義 議員

質問 ミャンマーのサイクロン、中国四川省の大地震などで地域が崩壊され、尊い命が失われております。日本でも北から南まで大なり小なりの地震が発生しております。

中越沖地震に伴い、原発を抱えている地域として調査がありました。

県の「地震・地質小委員会」が柏崎で行われましたが、その内容についてご存じですか。

答弁 「中越沖地震の震源断層につながる可能性がある原発沖のF―B断層から陸地側に別の活断層がある」「震源の分析だけで活断層があるとは言いきれない」「F―B断層については延長34km」「いや50km以上」などいろいろな意見が出ております。

今後、小委員会で十分検討されると思いますので、その推移を見守りながら、状況判断をしなければならぬと考えております。

質問 越佐海峡には、佐渡島棚東縁、F―B、佐渡島南方、F―D、高田沖断層があります。今回、その断層の状況が確定しえなかったのは、調査の時期と方法すなはち日本海の荒れる時期であったこと、本来6本で探査する予定が1本でしかできなかったからであります。

問題は、断層の評価の仕方が変わってきており、「佐渡があるから津波はこない」という旧来の考え方に注意を喚起する必要がありますと思いますが、どのようにお考えですか。

答弁 地質学的な問題は専門家に任せざるを得ない。しかし、対応だけは地震防災組織を含め、しっかりと構築していかなければならない。

海岸地区における訓練を通しながら、お互い注意を喚起し、安全確保のために努力してまいります。

質問 津波に対する特に海岸地域の対策、避難方法、避難路等々、避難所も含めもう少し考える必要があると思いますが如何でしょうか。



か。

答弁 今、自主防災組織を立ち上げるべく努力をしております。そのためには、今の状態でいいのかどうか。個人情報保護条例等がありますが、人命第一として最も弱者と言われる方々に対する十分な配慮をしていきたいと考えております。

質問 行政区単位に組織づくりの資金が出されておりますが、非常に難しいものがあります。基本的には、自分達の命は自分達で守る。この町の地形に合った対応ができるような組織づくり、それに対して行政は、リーダーの養成や備品設備の整備等の応援をすることが大切だと思っておりますが如何でしょうか。

答弁 町の意図する目的と地域、集落でギャップがありますが、基本は近所の助け合い相互扶助です。皆さんからご理解いただくよう、まずそこから始めていかなければならないと思っています。

無事登れるのかな？

第一次産業のあすへの取組について

田 中 元 議員

質問 演歌歌手ジエロさんの来町のおり、出雲崎産コシヒカリに、潮風米と命名し大々的に全国へ発信されました。神条地区で栽培し潮風で直接乾燥して販売するとの事ですが、ブランド化が進み消費が拡大すれば、乾燥に大きな労力が生じますが対応はどのように考えますか。

答弁 労力コストが高く限られた面積での栽培で潮風で乾燥した限定米です。出雲崎産コシヒカリの宣伝に使うもので、ブランド化をする考えはありません。

質問 農産物の直販は、一部農家の方々がJAの旧営農課の建物で週2回朝市直販をされています。潮風米としてのコシヒカリも通販だけでなく、直販も必要だと思います。直販施設が建設されるとしたら行政は参入する考えがあるのかお伺いします。

答弁 内容のいかんにもありますが、生産者なり直接

農業団体などが全力を挙げて取組む姿勢の中で、行政がバックアップをして付加価値をつけ生産者の方々がよし頑張るといふ姿勢が見えれば応援致します。

質問 農家をはじめ水産業・林業・酪農など、第一次産業は後継者も少なく、生産した品物も価格は低迷し離職者が増す一方です。現在行政も支援はされていますが、この状態が続けば衰退するのみです。今以上の取組が必要と思います。答弁をお願いします。

答弁 第一次産業の大きなネックは後継者難ということです。価格は低迷しダメージが大きくなっています。又、県単事業も縮小されるなか、県は住民に我慢してくれとは言えないから町がバックアップをしていると話しています。限られた状況の中であつても人づくりは大切です。

第一次産業に対する町としての考え方を皆さんの理解をいただいて強めていく

べきと考えています。



神 条 地 区

街並み整備事業と

認定町道交通規制について

宮下 孝幸 議員

質問 現在、海岸地区で街並み整備事業の一環として景観舗装（カラー舗装）が行われておりますが、あの手舗装は工場で、黒色舗装を一度脱色したのち着色すると言う特注品です。問題は驚く事に、その価格にありまして、通常の舗装と比較しますと、なんと7倍にもなるとの事であります。今期、国庫補助と合せて当町予算も8,000万円以上の予算が組まれ進められておりますが、予算的に高価舗装も概ね3年程度で色あせ、先行した地域では元々の原色さえも識別出来ない状態となっており、税の費用対効果の観点からも問題があります。

街並み整備事業の根幹とは歴的資産価値の高い妻入りの街並みの保存修景

であるべきであり、空地空家対策であるべきと考えます。ジェロ効果も手伝つての上潮ムードの当町

であり、町外から空家紹介を求める問合せも13件にも及ぶとの事。そこで私は、空地空家対策の一環として、寄付、格安購入を募り、その他に妻入り型町営住宅の建設を試みてはと考えております。将来転売をするなどの施策により海岸地区の定住人口増加にも期待が持てる施策一端とも言えます。道路はきれいになったが街並みは歯の抜け落ちた状態では、正に本末転倒であります。地権者交渉など

を必要とする難題ではありますが、そろそろ本丸本陣である空地空家対策に重点



町道諏訪本町線

を移し、本事業の完結を目指すべきと考えますが、当局の見解を伺います。

答弁 景観舗装の費用対効果永続性には若干疑問をもっていますが、国の景観法に基づく舗装事業の採択基準により、透水性舗装と側溝整備と言う、こう言う事業でなければ、なかなか採択が頂けなかった要因があった。これをご理解頂きたいと思ひます。しかし採択基準があるとは言え、今後、費用対効果を考慮して進めて行く必要があるものと思ひます。

町営住宅建設は財政対応上なかなかの難題と思ひますが、議員のお話も当然ですし、街並みの問題は私も苦慮してあります。しかし、やはり空地空家対策は行政主導では困

難です。今後所有者や地域の住民の皆さんお力添えを頂き、あくまでも民間主導の中、行政としてのどのような介添えが出来るのかなどを含め、相寄り協議し進めて参ります。

質問 2月に認定をされた町道諏訪本町線は、海岸バイパスと町道海岸線を結ぶ連絡道路として多いなる期待がありますが、地域住民から開通による交通公害が心配されています。住民の不安解消のため、何らかの交通規制をすべきと考えますが、当局の見解を伺ひます。

答弁 地元意見を聞いて有効に活用したいと思ひます。

一般車輛の通行は考えておらず、通常は歩行者・自転車あるいは街並み探索道路としての活用を考えております。

しかし、非常時には緊急道路としての活用も視野に入れ、概ね議員ご指摘の趣旨に沿った形で活用したいと考えております。

町長の政治姿勢について

田 辺 雅 巳 議員



元 気 が 一 番

【質問】 3月議会の質問に答弁をされてない部分と補足もありますので再度お聞きします。

国の施策による町民負担が行われた場合に、町ではいかにその施策で町独自の「福祉の増進」を図るかを

聞きたいものであり、全体的な町独自の「福祉の増進」を聞いてはいません。国の施策が正しいから行政を行っているのか、しかたがないから別に町独自の町の施策で補ってるのか。それとも国に意見をしたり、

町独自で国による町民負担を軽減するのかを聞きたい。その例が後期高齢者医療制度の問題であります。町長の考えをお聞きします。

【答弁】 国と地方がそれぞれの役割の中で、効率的な行政運営を図りながら地方自治体の自主性及び自立性を発揮していかなければならないと言うことがまず基本です。後期高齢者医療制度では、市町村が独自に基準を設けて軽減処置することはまず今のところ許されていないという現実でございますのでご理解頂きたいと思います。

【質問】 人が住み購買力を高めるために企業誘致について町長の考えをお聞きします。

【答弁】 県も企業誘致のための団地造成したのですが売れないで困っているわけです。町も大変厳しい状況の中ではございますが、機会を見ながら県、東京事務所

に行きましても十分話をしておるわけです。努力してまいりたいと思っております。

【質問】 ゴミ有料化で「いま町民に負担をいただくことが将来プラスになる」と答弁されましたが、どうプラス、助けになるのかお聞きします。

【答弁】 ゴミの量によって分担金が各自自治体にはね返ります。割り返してみると町民の皆さんがゴミの有料袋の代金より以上のお金をいただくかなければならないということです。また、住民の平等、公平の立場で行政は志していく観点です。

町民の声

『自然に親しむ、
私の里山ウォーキング』

大釜谷

酒井 昭 治



里山に咲くヤマボウシの花

数年前、新しい中永トンネルが開通して以来、私は旧道を自然歩道として散歩道に利用している。身近な里山の懷に抱かれ、ウグイスやホトトギスの鳴き声を聞きながら、四季折々の野草や樹木、昆虫などの小動物に接しながら、自然の息吹や生命の営みを毎日のように満喫している。

出掛けが気の重い日でも一旦、里山（旧道）に足を踏み入れると、そこは別世界。歩き始めると、五感のすべてが蘇ったように心地よく、不思議な安らぎが体全体に広がり、心が洗われるような気持ちになる。

旧トンネル入り口まで往復、約1時間位で、気が向けばさらに小木ノ城跡まで足を伸ばすことができる。

ウツギやガマズミの花が終わり、ヤマボウシの花が咲いている（写真）。ホテルブクロも花を開き始め、私の里山ウォーキングにもはずみがつく昨今である。

表紙の小話



好天に恵まれた5月3日第3回目を向えた出雲崎の魚まつりが開催されました。町外からも大勢の観光客が訪れて盛大です。毎年この日を楽しみにしている方もたくさんおられ、この日に、あわせ魚をたくさん用意される漁業関係者の準備は大変なものです。

昨年の中越沖地震により、荷捌所が大被害を受け、今年は仮設の建物で行なわれましたが、復旧工事が急ピッチで進められており、今年10月下旬完成の予定です。

新しく設備の整った出雲崎市場で来年は計画されており「年々盛大になり、より大勢のお客様に喜んでいただけますよう、他の地区の魚まつりに引けを取らないよう、今から構想を練っています」と漁協の若山支所長は話しておられます。5月の連休と言ったら「出雲崎の魚まつり」となれば楽しいですね。

(小林泰三)

あとがき

5月下旬県内各町村の議会報担当の議員が一堂に会し、議会報の発行についての研修会が開かれました。

町村ごとの過去に発行された数回のものについて、講師より批評がなされ、ほめられるよりも検討するよう求められることが多く、特に一番、目につきやすい表紙をはじめとする写真がよいと言われるものがあり、写真に気を使うよう言われました。

全国の議会報コンクールで常に上位入賞している聖籠町議会では、3名の写真担当者が日常的にカメラ片手に、あちこち駆け回っているそうです。他町村の例を見ると参考になることも多く、私達も今後には活かしたいと思っています。

出雲崎の議会だよりの裏表紙に毎号掲載してあります「町民の声」に、町民の皆様への投稿を受け付けていますので、ぜひ皆様のお寄せ下さい。お待ちしております。

(小林泰三)